

2年連続 県広報コンクール入選

【広報紙部門】入選
【広報写真部門（一枚）】入選
【Webサイト部門】入選

令和7年7月1日号
令和7年6月1日号
市公式 Web サイト

令和7年度茨城県広報コンクールで、市のエンターリー作品が広報紙部門、広報写真部門一枚写真の部、Web サイト部門で入選を受賞しました。

1/1 延べ 271 人を診療 年末年始の休日診療所対応



真壁医師会筑西支部と筑西薬剤師会筑西支部の協力を得て、年末年始の6日間、体調不良や発熱した患者さんの診療を行いました。診療開始前には市長が訪れ、従事者へ感謝の気持ちを伝えました。

1/21 電子での申告を PR 中学生が一日税務署長に就任



中学生の「税についての作文」で県知事賞を受賞した渡邊杏奈さん（関城中3年）が一日下館税務署長に就任。渡邊さんは市に確定申告に関する協力を依頼し、市長は「積極的に電子申告を行うよう努めていきたい」と話しました。

1/13 秋季善行表彰受賞 献身的な交通安全活動が評価



永年にわたる交通安全活動への貢献が評価され、筑西地区交通安全母の会（飯村佳子会長）が、（一社）日本善行会から、善行表彰を受賞し、その喜びを設楽市長に報告しました。

1/22 東京都台東区広域 防災備蓄倉庫が運用開始へ



連携都市である東京都台東区（服部征夫区長）は、災害時のリスク分散のため、下館庁舎跡地に広域防災備蓄倉庫を設置します。備蓄倉庫運用開始に先立ち、野村武治副区長が感謝の意を伝えるため本庁を訪れ、現地を視察しました。

12/25 市総合振興審議会 第3次市総合計画の基本構想を答申



この答申を受け、基本構想として市が目指すべき将来都市像を「いつもいつでも いつまでも 安心なまち 筑西 ～Our Future Together～」と掲げ、市民共創のまちづくりにより、地域の発展を一層推進していきます。

1/15 ムービングハウス協会 災害時の住宅支援の協定を締結



（一社）日本ムービングハウス協会（佐々木信博代表理事）と「災害時における応急仮設住宅（移動式木造住宅）の建設に関する協定」を締結しました。これにより、災害発生時の迅速な住宅支援が期待できます。

1/22 小学校6年生へ 手作り紙すきハガキ寄贈



市地域女性団体連絡会（海老澤三枝子会長）から、市内の小学校6年生を対象に牛乳パックを再利用した「手作り紙すきハガキ」が寄贈されました。このハガキには、大切な人へ感謝の想いを伝えるために活用してほしいとの思いが込められています。

1/9 水戸ホーリーホック×茨城ロボッツ プロスポーツに学ぶ経営力



同友クラブ主催の「水戸ホーリーホック×茨城ロボッツ講演会」がホテルニューつたやで行われました。水戸ホーリーホックからは小島耕代表取締役社長と飯田貴敬選手、茨城ロボッツからは川崎篤之代表取締役社長が登壇。3人からは、ファンベース経営や地域パートナーシップについて講演いただき、企業と地域が成長を続けるためのヒントを学びました。

1/16 産前産後ケア施設「あいあい」 ママさんのニーズをカタチに



0歳児の母親を支援する「産前産後ケア施設あいあい（大関萌子代表）」が市独自の産後ケア施設整備費補助金を活用し、開設しました。この施設は特に生後1歳未満の母親に多い、体調の変化、睡眠不足、メンタルヘルスケアのため、乳房ケアや授乳助、沐浴指導などの産後ケアを実施。また産後ケア利用者以外も利用できるラウンジの併設や産前産後のコミュニティの場を提供し、母親が安心して子育てできる地域づくりを目指しています。

2/3 「鬼は外、福は内」春の伝統行事 下館羽黒神社節分祭



立春の伝統行事である節分祭が羽黒神社で行われました。下館羽黒神社節分祭は、昭和初期より続くおよそ100年の歴史を持つ祭りです。福の神や鬼が境内に姿を見せ「鬼は外、福は内」の掛け声に合わせて、お菓子や破魔矢が盛大にまかれると、会場は一年間の福を願う大勢の参加者で活気に満ち溢れました。

1/12 筑西だるま市 新春に願いを込めて



筑西の新春の風物詩「筑西だるま市（渡辺剛実行委員長）」が大町通りで開催されました。会場には縁起だるまがずらりと並び、新春の活気に満ちた光景が広がりました。訪れた人は、商売繁盛や家内安全、合格祈願などを願い、思い思いのだるまを選んでいました。

1/17 手話パフォーマンスライブ 音のない世界に音楽を



手話の魅力や楽しさを知るきっかけづくりとして、手話パフォーマンスライブをペアノで開催しました。ライブはサインシンガーの強力翔さんが音楽をとおして「観て・感じて・一緒に楽しめる手話ライブ」を披露しました。ライブ中、強力さんは「虹のようにいろんな色があるように、いろんな人がいてもいい。誰一人取り残されない世界をみんなで作っていきたい」と熱く語ってくれました。

2/6 養蚕コミュニティセンターが 優良公民館を受賞



日々の活発な活動と地域住民の学びを支える取り組みが評価され、養蚕コミュニティセンターが第78回優良公民館表彰を受賞しました。この賞は、全国の公民館などの社会教育施設のうち、運営方法や事業内容に創意工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献している施設を称えるものです。

県交通安全功労者褒章

小石川 正 様



地域の交通安全の推進に献身的、奉仕的に尽力し、交通事故の防止に多大な功績が認められ、令和7年11月19日に県交通安全功労者褒章を受章しました。

1/28 道路里親制度 地域の道路を協働で守り育む



市は(株)小薬建設（小薬拓巳代表）と道路里親制度の協定を交わしました。市長は「竹島小学校へ通う子どもたちの通学路であり、道路里親へ参加いただきとても感謝しています」と話しました。

2/4 小学校入学を祝って 新一年生へ文具セットを寄贈



市内の小学校に入学する、新一年生の交通安全と元気いっばいに学校生活を送ることを願い、筑西地区安全運転管理者協議会（森寛樹会長）から文房具を寄贈いただきました。

スポーツ

Sports News

第1回全日本選抜みとちゃんカラーコート ドッジボール選手権大会

11月23日 アダストリアみとアリーナ（水戸市）



【第3位】 Genesis D.C.

全日本ジャンプロープ選手権大会 2026 個人戦 決勝大会

12月14日 川崎市幸スポーツセンター（神奈川県）



栗原 桜渉（大田小4年）
【個人総合 30秒スピード 3分スピード】
Kids 男子 第1位



【個人フリースタイル】 Kids 男子 第2位
栗原 杏翠（下館南中1年）
【30秒スピード 3分スピード】
Junior 男子 第1位
【個人総合】 Junior 男子 第2位



栗原 梨乃（下館南中3年）
【30秒スピード】 Senior 女子 第2位



Think globally, Act locally ～地球規模で考え、地元から行動する～



今回は、日本から約5時間で行けるフィリピンの家庭料理を紹介します。

私は、今から20年前にJICA（国際協力機構）の国際協力のリーダー研修で、フィリピンに約2週間滞在しました。その間に経験したホームステイで、日々の生活の厳しさを肌で感じる一方、家庭料理を楽しむことができました。

私の好きなフィリピン料理は、野菜がたくさん入った「シニガン」。これは日本の味噌汁にあたり、タマリンドという酸味のある果実が入った酸っぱさが味の決め手でフィリピンの人たちのおふくろの味です。ナスやトマト、空心菜などの野菜をメ

インに、肉か魚介が入っていてとってもヘルシー。

国際相互の理解を深めるためのフィリピン料理教室が12月に市内で開催され、私もおすそわけをいただき、シニガンのおいしさに幸せを実感しました。グローバル化が進み、日本でも材料が手に入りますので、ぜひ、みなさんも作ってみましょう。

シニガンの作り方はこちら

出典：フィリピン
政府観光省



左下がフィリピン料理「シニガン」